

北アルプス日本海広域観光連携会議 第1回広域観光連携専門委員会

平成28年4月15日
糸魚川市役所202会議室

1 開会

2 新任担当者紹介

3 報告

- 3/20 開業1周年記念イベントについて 資料1
- 訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業 別添

4 審議事項

- 平成27年度事業報告、決算(案)について 資料2
- 平成28年度事業計画、予算(案)について 資料3
- 今後のスケジュールについて

4/26(火) 第1回幹事会(14:00~糸魚川市役所)

5/11(水) 総会(16:00~ヒスイ王国館)

その他

5 その他

平成 28 年度
北アルプス日本海広域観光連携会議

通常総会資料



日 時 平成 28 年 5 月 11 日

会 場 ヒ ス イ 王 国 館

平成27年度 事業報告について

平成27年4月～28年3月

会議の開催

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う委員会として3回開催した。

- ・ 第1回 広域観光連携専門委員会（平成27年4月17日開催）
- ・ 第2回 広域観光連携専門委員会（平成27年11月6日開催）
- ・ 第3回 広域観光連携専門委員会（平成27年12月21日開催）

幹事会

連携会議の円滑な運営を補助することを目的に2回開催した。

- ・ 第1回 幹事会（平成27年4月27日開催）
- ・ 第2回 幹事会（平成28年1月19日開催）

平成27年度の取組

(1) 周遊型広域旅行商品の販売促進

752,268円

- ・ 当エリアを巡るモニターツアーを行うことで認知度向上と誘客拡大を図った。

日本旅行「ジバング倶楽部」

『つつじ、さつき、藤、花めぐり庭めぐり』

内 容：藤まつり、月華山かねこつつじ園

（以上、糸魚川市）護国寺（朝日町）

出発日：5月10日 乗車人数：13名



びゅうトラベルサービス「大人の休日倶楽部」

『夏の北アルプスと日本海 秘境の歴史と文化にふれる2日間』

内 容：高田公園、岩の原葡萄園（以上、上越市）

フォッサマグナミュージアム（糸魚川市）

百河豚美術館（朝日町）

姫川源流自然探勝園（白馬村）

大町山岳博物館（大町市）

出発日：7月30日 乗車人数：22名



びゅうトラベルサービス（ネット販売限定）

『北アルプスの絶景と紅葉の「翡翠園」・「谷村美術館」糸魚川名所めぐり』

内 容：大町山岳博物館（大町市） 姫川源流自然探勝園（白馬村） 千国の庄資料館（小谷村）～糸魚川定期観光バス乗車～相馬御風宅、加賀の井酒造、大王あじさい園（以上、糸魚川市）

出発日：11月20日 乗車人数：11名

(株)阪急交通社

『北陸新幹線で一直線！誰も知らない!?糸魚川駅を訪ねる3日間』

内 容：フォッサマグナミュージアム、街歩き、
加賀の井酒造、糸魚川温泉・笹倉温泉
（以上、糸魚川市）

出発日：1月24日～4月19日の間のうち
8回運行

乗車人数：31名



(2) 認知度調査および開業効果測定事業

900,756円

- ・ 北陸新幹線開業後において、当地域と北陸新幹線の認知度調査を行うことで、今後の戦略を立てるうえでの効果検証資料の取得を行う。

【調査日】 平成27年9月30日

【調査方法】 ネットリサーチ

【ターゲット】（年代）20代～60代の男女

（居住地域）一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）

関西圏（大阪府、京都府）

沿線都市（群馬県、長野県）

北陸三県（富山県、石川県、福井県）

【対象者数】 1,200人

【調査項目】 15項目

- ・ エリアの認知度、興味度および経験度
- ・ 北陸新幹線の開業認知度
- ・ 北陸新幹線の利用意向と利用する理由
- ・ 開業によるイメージと今後の来訪意欲度 など

(3) 出身タレントの活用

600,756円

- ・ 糸魚川市出身のよしもと芸人横澤夏子さんと各県の住みます芸人を活用し、観光地を紹介するYoutube動画を作成。
- ・ 撮影日、撮影場所は以下のとおり。

上越市・朝日町・糸魚川市 撮影日：6月3日（水）

撮影箇所：上越市...春日山城跡
朝日町...ヒスイ海岸
糸魚川市...糸魚川駅ジオステーションジオパル
小谷村・白馬村・大町市 撮影日：7月21日(火)
撮影場所：小谷村...梅池自然園
白馬村...白馬大雪渓
大町市...黒部ダム

(4) 出店支援事業 65,556 円

- ・ 糸魚川駅前を会場に開催された『国際ご当地グルメグランプリ 2015 in 糸魚川』(10/3～4)に、上越市の農家民宿どぶろく荘が出展。連携会議で出展料を負担することで物産販売を支援した。



(5) 二次交通整備拡充事業 749,576 円

駅レンタカー利用者の乗捨て料金の補助

- ・ 糸魚川営業所を起点とする乗捨て料金 4,320 円エリアの乗捨て利用について、乗捨て料金の全額を補助することで観光流動を創出することを目的に実施。

期間：平成 27 年 10 月 1 日～12 月 27 日

対象営業所

J R 東日本エリア 上越妙高、飯山、長野、信濃大町、松本

J R 西日本エリア 黒部宇奈月温泉、富山、新高岡



運行実績 10 件

内訳：信濃大町 糸魚川 1 件、松本 糸魚川 2 件

糸魚川 上越妙高 4 件、糸魚川 松本 2 件、糸魚川 富山 1 件

特急バスの延伸の検討（ 冬季インバウンド対応事業へ）

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人観光客の食事難民解消策として、白馬 - 糸魚川間をシャトルバスで繋ぎ、エリア内の観光流動の創出を図る。

【事業概要】

運行スケジュール（期間中の毎週水・木曜日 全 12 回運行）

平成 28 年 1 月 6 日（水）～2 月 11 日（木・祝）

運行時間

白馬東急ホテル（16：30）＝＝＝八方バスセンター（16：40）＝＝＝糸魚川駅（17：50～21：00）＝＝＝八方バスセンター（22：00）＝＝＝白馬東急ホテル（22：10）

車両

マイクロバスタイプ（27 人乗り）

利用料金

片道 500 円（往復 1,000 円）

広報宣伝

チラシの作成・配布、ホームページ掲載

エッセンシャルガイド掲出

運行実績

利用者 100 名（内、外国人客 56 名）



（ 6 ） 二次交通ビジョンの策定

11,670 円

「北陸新幹線糸魚川駅利用促進に向けた戦略会議」を設置し、北陸新幹線糸魚川駅の利用促進策を練るとともに、二次交通の環境整備に向けた検討と周遊ルートの制度設計を目指す。

構成団体 西日本旅客鉄道株式会社金沢支社

新潟県

長野県

北アルプス日本海広域観光連携会議構成市町村

（糸魚川市、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町）

会議経過 12 月 24 日 第 1 回戦略会議 開催

第 1 回目の会議の意見を踏まえ、観光施設への誘導強化に特化し、現状の観光施設へのアクセス方法（二次交通）について全体の状況をまとめ、二次交通のニーズ調査を行う中で、新しい二次交通（新ルート、補完的役割、周遊化）の検討・実施に向けて、次年度以降も継続して取り組むこととする。

(7) 住民見学会の開催

478,756 円

連携会議市町村内に居住する住民を対象に、新幹線駅舎見学と糸魚川市内の観光ツアーを開催し市民意識の醸成を図る。

ツアー名 北陸新幹線糸魚川駅と荒波あんこう祭り見学ツアー

日程 平成 28 年 1 月 24 日(日)

参加費 3,000 円

行程 発地により違いあり。

各地から乗車 === 糸魚川駅・ジオパル見学 === あんこう祭り見学 === 昼食(マリンドリーム能生 or ヒスイ王国館) === 玉翠園・谷村美術館 === フォッサマグナミュージアム === 帰路

参加者 49 名

大町方面 29 名、白馬・小谷方面 12 名、上越方面 8 名、朝日方面(不催行)



(8) 訪日ムスリム外国人旅行者の受入環境整備等促進事業

0 円

白馬五竜周辺で行われているムスリム外国人旅行者受入の取組みをエリア内に広げ、インバウンド受入のための知識の習得と受入環境整備を図る。

ムスリムセミナーの開催

日程 2 月 22 日(月) ~ 24 日(水)

内容 第一部「イスラム教について」

講師：日本アセアンセンター観光交流部部長代理 神田瑞穂 様

第二部「ムスリム客の受入について」

講師：白馬五竜観光協会事務局長 佐藤文生 様

ムスリム対応料理セミナーの開催

日程 3 月 22 日(火) ~ 24 日(木)

内容 地域の食材でマレーシア料理を作り、試食を通じて楽しみながら食文化の違いを学ぶ。

キブラシールの作成

作成部数：1 万枚(サイズ 145mm x 45mm)

エリア内の宿泊施設等に配布する。(申込制)

ムスリム専用ホームページの作成

作成言語：英語(一部、日本語併記)

市町村ごとにムスリム対応施設一覧をデータとして掲載。

(9) 二次交通整備拡充事業(鉄道見所マップの作成) 0円

大手鉄道雑誌への記事掲載で認知度の向上を図った後、掲載記事を基に将来的に総集編冊子を作成する。(H28 大系線非電化区間掲載、H29 大系線電化区間...)

また、雑誌掲載にあわせオリジナルノベルティグッズを配布し、直接的かつシンプルに乗車を動機付けることで来訪を促す。

『鉄道ジャーナル(月刊)』への記事掲載

鉄道に関心がある人を直接ターゲットにすることで、乗り鉄、撮り鉄などの乗車にも繋げる。

- ・掲載内容：大系線の写真(車窓、駅舎、車両や歴史が感じられる写真等)、駅員のインタビュー、大系線沿線(非電化区間(糸魚川～南小谷))の観光情報など。

- ・発行日：6月21日(火)(取材日：5月16日～18日)

ノベルティグッズの作成

子供～大人まで惹きつけられるような鉄道グッズを作成し、期間限定のプレゼントキャンペーンを実施する。

- ・個数：1,000個
- ・内容：キハ52のギミック+駅名プレート(糸魚川 or 南小谷)
- ・納品：H28年5月末(現在製作中)
- ・キャンペーン(案)

「大系線に乗ろう！懐かしのキハ限定ストラッププレゼントキャンペーン(仮)」

期間：平成28年7月16日(土)～10月30日(金)

内容：糸魚川駅及び南小谷駅に専用スタンプ、専用台紙を設置。押印後の台紙と乗車券の提示でグッズと交換できる。



(10) 開業記念イベントの参加 90,052円

北陸新幹線糸魚川駅開業1周年記念イベントに北アルプス日本海広域観光連携会議から出展。観光PRや特産品販売等で賑わいを作った。目標であった1万人の来場者から糸魚川を楽しんでいただいた。



(11) 広域観光マップの作成

2,376,756 円

高速道路 S A に設置される広域ロードマップを作成、配布することでエリアへの誘客を促進する。片面に高速道路広域マップ、片面にエリアの詳細地図や見所、イベント、特産品等を紹介。



仕様 B 2 版 12 折 フルカラー
部数 60,000 部
納品 平成 28 年 3 月 25 日

配布箇所 (高速道路)

地域	設置箇所	都道府県	部数	
北陸	北陸自動車道	有磯海 S A (下)	9,000 部	
		尼御前 S A (上)		
		米山 S A (上)		
関東	東名高速道路	海老名 S A (下)	神奈川県	15,000 部
中部	中央自動車道	諏訪湖 S A (下)	長野県	12,000 部
		駒ヶ岳 S A (下)	長野県	
		双葉 S A (下)	山梨県	
	新東名高速道路	岡崎 S A	愛知県	15,000 部

配布箇所 (道の駅)

地域	設置箇所	都道府県	部数
北陸	越後市振の関	新潟県	4,000 部
	親不知ピアパーク	新潟県	
	マリンドリーム能生	新潟県	
	うみてらす名立	新潟県	
中部	小谷	長野県	
	白馬	長野県	

上記のほか、各県東京観光情報センター・大阪観光情報センター・名古屋観光情報センターに設置。各市町村には 500 部ずつ配布。

(12) その他

188,676 円

布地スクリーンの制作

- ・ 連携会議の P R のための共通デザインのスクリーンを制作した。



あいのトキめき事業

- ・ 観光交流事業として、朝日町と糸魚川市が連携し、“おとなの遠足 in 朝日町”を開催。
- ・ 鉄道を利用して会場（あいの風とやま鉄道泊駅）に集合させることで、えちごトキめき鉄道の利用促進を図った。

【実施内容】

開催日時

平成 27 年 10 月 24 日（土）

内容

海岸散策・街めぐりなど、
アクティビティを含むパーティーの開催。

参加対象者

糸魚川市、新川広域圏に居住する 20～49 歳までの
の独身男女

参加実績：男性 28 名 女性 26 名



視察研修受入

- ・ 福井県丹南広域組合議会議員の視察研修訪問を受け、当連携会議の組織・取組について説明した。

福井県丹南広域組合

鯖江市、越前町、池田町、南越前町、越前町の 5 市町で構成。平成 34 年度の北陸新幹線敦賀延伸により南越駅（仮称）の開業を控える。

開催日時

平成 27 年 11 月 12 日（木）

内容

広域観光推進の取組について

訪問者

福井県丹南広域組合議会議員 17 名
事務局 2 名



平成27年度 決算

【収入の部】

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
	8,089,000	8,089,000	0	
1.負担金	5,000,000	5,000,000	0	糸魚川市
	630,000	630,000	0	上越市
	890,000	890,000	0	大町市
	275,000	275,000	0	白馬村
	94,000	94,000	0	小谷村
	400,000	400,000	0	朝日町
	800,000	800,000	0	新潟県
2.補助金	0	0	0	
3.雑収入	1,430,974	283,127	-1,147,847	総会交流会費、住民見学会参加費、預金利息
4.繰越金	1,733,026	1,733,026	0	
計	11,253,000	10,105,153	-1,147,847	

【支出の部】

科 目	予算額	決算額	比較増減	説 明
1.事業費	10,103,000	6,414,822	-3,688,178	
広告宣伝	2,377,000	2,376,756	-244	広域マップ制作
誘客宣伝	2,983,000	2,442,456	-540,544	認知度調査、モニターツアーほか
イベント関連	943,000	634,364	-308,636	住民見学会ほか
二次交通	3,500,000	761,246	-2,738,754	駅レンタカー乗捨バス、シーフードシャトルバスほか
ホームページ運営費	300,000	200,000	-100,000	ホームページ運営管理
2.連携会議運営費	1,150,000	628,976	-521,024	
会議費	300,000	176,376	-123,624	総会会議費
事務委託費	800,000	450,000	-350,000	糸魚川市観光協会委託
事務通信費	50,000	2,600	-47,400	収入印紙購入
計	11,253,000	7,043,798	-4,209,202	

収入10,105,153円 - 支出7,043,798円 = 差引3,061,355円 は次年度に繰り越す


監査報告書

平成 27 年度収入支出決算について、関係書類及び諸帳簿を監査した結果、適正かつ正確に処理されていることを確認しました。

平成 28 年 4 月 21 日

監事


大町商工会議所 会頭

坂中正 

平成 28 年 4 月 25 日

監事

新潟県糸魚川地域振興局 局長

渡辺広治 

平成28年度 事業計画（案）について

事業概要

広域観光連携のメリットを生かしたこれまでの取り組みを継続させるとともに、開業効果を生かした事業を実施、加速させていく。

事業計画

1 会議の開催について

広域観光連携専門委員会

具体的な事業計画や実施を担う機関として、事業計画を推進する。

北陸新幹線糸魚川駅利用促進戦略会議

糸魚川駅から周辺市町村への誘導方法を検討しアクセス強化を図ることで糸魚川駅の利用促進と広域的な誘客に繋げる。

幹事会

重要事項の審議のほか、連携会議の円滑な運営を補助することを目的に開催する。

2 平成28年度事業について

(1) 広域観光PR

誘客宣伝事業

広域旅行商品の販売促進（継続） 1,200,000 円

- 各市町村の創意工夫により、エリアの認知度向上を図るための広域旅行商品を企画造成し誘客拡大を図る。

ビジット・ジャパン地方連携事業（新規） 4,300,000 円

- 海外旅行会社等にツアー造成してもらうことを主眼に、外国人誘客の取組みを国と共同実施することで広域連携を促すとともにエリアの多彩な魅力を発信する。

AGTモニターツアーの実施（新規） 1,100,000 円

- 北陸新幹線の開業に伴い、関西圏からの誘客増をねらいに旅行商品を企画する旅行エージェントによるモニターツアーを実施し誘客の促進を図る。

観光キャンペーンの実施（継続） 570,000 円

- 誘客の促進、また連携会議の連帯意識の向上を図るため、集客力ある大規模商業施設において合同による観光キャンペーンを実施し認知度の向上と誘客促進を図る。

HP管理

ホームページの運営管理（継続）	200,000円
-----------------	----------

魅力あるコンテンツを発信することで、誘客宣伝と認知度の向上を図る。

(2) 二次交通

二次交通

駅レンタカー乗捨無料事業（継続）	906,000円
------------------	----------

- ・ 駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することでエリア内の周遊を促す。

冬季シャトルバス運行事業（継続）	500,000円
------------------	----------

- ・ 冬季、白馬バレーに滞在する外国人旅行客に二次交通手段を提供することで、観光流動を創出するとともに新たな観光ルートの構築に繋げる。

鉄道魅力発信事業（継続）	1,507,000円
--------------	------------

- ・ 鉄道専門誌への記事掲載やオリジナルグッズがあたるキャンペーンを実施することで、在来線の魅力をアピールし来訪意欲を創出する。

北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議（継続）	1,000,000円
-----------------------	------------

- ・ 専門委員会として「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」を設置し、系魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線系魚川駅の利用促進を図る。

平成 28 年度 事業計画（案）

誘客宣伝

広域旅行商品の販売促進（継続）

1 趣旨

広域旅行商品の造成及び販売を通じて当エリアへの誘客拡大を図る。

2 事業計画（案）

- (1) 北陸新幹線糸魚川駅を利用した広域旅行商品の企画造成と販売に係る費用を負担する。
- (2) 主に連携会議構成団体が自ら企画又は売込を行うツアー商品の協賛金を想定。
- (3) 2市町村以上を跨るコース設定により周遊を促す。

【商品例】

『北アルプスと日本海 豊かな文化・芸術と冬の味覚満喫の旅』

販売：びゅうトラベルサービス「大人の休日倶楽部」

期日：平成27年2月19日

内容：

大町山岳博物館(大町市)→ラ・ネージュ東館、菊池哲夫 山岳フォトアートギャラリー(以上、白馬村)→道の駅小谷(小谷村)→玉翠園・谷村美術館、道の駅マリンドリーム能生(以上、糸魚川市)→越後高田街歩き(上越市)

企画：糸魚川市

3 目標

認知度向上

誘客拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	商品開発・売込											

5 事業費（概算）

1,200,000 円

<内訳>

・200,000円×6件=1,200,000円（主にツアー実施協賛金として）

誘客宣伝

ビジット・ジャパン地方連携事業（新規）

1 趣旨

増加するインバウンド客に対応するべく、現在延べ宿泊者数の多い台湾（新潟県2位・長野県1位・富山県1位）をターゲットに当エリアの共通観光資源である自転車を活用した誘客施策に取り組む。 ※北陸信越運輸局連携事業

2 事業計画（案）

- (1) 6市町村の情報を一元化したプロモーション用パンフ（日・英・繁体）製作（6,000部）
- (2) 訪日ユーザー用サイクルロードマップ（日・英・繁体）製作。（20,000部）
- (3) 3泊4日でメディア招請（5社5名を想定）を行い、観光ルートを紹介。

【行程案】 ※平成28年9月～10月を想定

- 1日目： 台湾桃園国際空港⇒富山きときと空港⇒富山駅⇒（北陸新幹線）⇒糸魚川駅⇒大町仁科三湖・黒部ダム⇒白馬村（泊）
- 2日目： 白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース⇒高田城・上越水族博物館⇒上越（泊）
- 3日目： 久比岐自転車道⇒かにや横丁⇒なないろKAN・ひすい海岸⇒糸魚川（泊）
- 4日目： 糸魚川駅⇒（北陸新幹線）⇒富山駅⇒富山きときと空港⇒台湾桃園国際空港

【招請案】

一般雑誌社

- 時時週刊・・・発行部数約6万部。購読者層25～29歳。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる週刊誌。
- 壹週刊・・・発行部数約12万部。国内外の芸能、グルメ、旅行、ファッション等を幅広く取り上げる最も購読率が高い雑誌。
- 康健・・・発行部数約9万部。健康、ライフスタイルをテーマにした生活情報誌。購読者層は家族を持つ30代。

旅行雑誌社

- MOOK TRAVELER・・・発行部数約8万部。毎月発行の旅行専門誌。海外及び国内旅行を紹介。
- 行遍天下・・・台湾版と国際版を一冊にまとめて発行。現在、旅行関連シリーズは既に500種類以上を発行。

- (4) 現地プロモーションを実施し旅行社を直接訪問し売込を行う。（平成28年11月・29年3月）
- (5) 現地誌Taipei Walkerへの出稿。（平成29年1月）

3 目標

エリアの認知度向上
新たな観光ルートの構築

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パンフ、マップの製作		○										
メディア招請						○	○					
旅行会社等セールスコール								○				○
Taipei Walker出稿										○		

5 事業費（概算） 4,300,000 円 （国の負担決定額4,260,000円）

内訳（単位：千円）

メディア招請	国負担額	北ア負担額	総事業費
国：航空券、現地移動費、宿泊費、食費等	1,220	0	1,220
純広告	国負担額	北ア負担額	総事業費
国：広告料	480	0	480
セールスコール	国負担額	北ア負担額	総事業費
国：台湾国内移動費、通訳等 地方：渡航費用、宿泊費等	300	870	1,170
パンフ・マップ	国負担額	北ア負担額	総事業費
国：プロモーション用パンフ 地方：着地型ガイドマップ	2,260	3,430	5,690
計	4,260	4,300	8,560

平成 27 年 9 月

北陸信越運輸局 平成 28 年度 V J 地方連携事業ブロック戦略

1. 目的

北陸信越運輸局では、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」を踏まえ、ビジット・ジャパン（VJ）地方連携事業として、インバウンドに積極的に取り組む各地域（自治体及び観光関係団体等）と広域連携し、北陸信越地域ならではの上質な観光資源の魅力を海外向けに発信するなど、下記ブロック方針に沿って平成 28 年度事業計画を策定、戦略的プロモーション事業を展開し、北陸信越地域への外国人旅行者の訪日促進を図る。

当運輸局では、これまで実施してきた VJ 地方連携事業の効果や、当該年度の事業実施により、平成 32(2020)年の管内における外国人延べ宿泊者数^(注1)を平成 26 年実績の 102 万人泊より 68 万人泊増（率にして 67%増）の 170 万人泊を目指す。

注 1：観光庁「宿泊旅行統計調査」による（従業者数 10 人未満の施設は含まない）

2. ブロック方針

(1) 重点テーマ

平成 28 年度 VJ 地方連携事業は、従来の事業に留意しつつ、次のテーマについて特に重点を置くこととする。

- ① 北陸信越地域ならではの特色を活かし、四季折々の魅力を PR し、年間を通して訪日需要を創出する。
- ② 北陸新幹線、上越新幹線や航路を活用した広域観光ルート造成に資する。
- ③ 管内空港への国際航空路線の就航・増便や管内港湾へのクルーズ船の誘致に資する。
- ④ 管内の旅館（RYOKAN）や消費税免税店を有効活用し、観光旅行消費の拡大に資する。
- ⑤ 伝統工芸品等に触れていただくなど、「質の高い」北陸信越地域の文化の魅力を発信する。

(2) 対象市場

対象市場は、熟度に応じ次のとおり区分する。

また、市場毎の方針は「別添1.」のとおりとする。

① 成熟市場

台湾、中国、香港、韓国、豪州、シンガポール

② 成長市場

タイ、マレーシア、インドネシア、米国、フランス、イギリス、ドイツ

③ 潜在市場

スペイン、カナダ、イタリア、ロシア、ベトナム、フィリピン、インド

(3) 事業区分と概要及び成果指標

事業の区分と概要は、「別添2.」のとおりとする。

また、より具体的な効果が得られる事業とするため、成果指標を「別添2.」のとおり定めるとともに、以下の点に留意し、戦略的に事業を企画・展開することとする。

- ① 受託事業者からの報告等を通じて、全ての事業について成果指標に基づき、事業成果を把握する。
- ② 国費を負担する事業のみならず連携先において負担する事業についても、地域と連携し成果指標を共有する。
- ③ 招請事業については、招請者に対し、訪問した観光地の評価等を内容とするアンケート調査を必ず実施し、分析する。
- ④ 過去に実施した事業の事業成果等を分析し、成果を得られなかった事業については、事業の見直しや新たな事業計画を策定する。

3. 広域観光周遊ルート形成促進事業との関係

広域観光周遊ルート形成促進事業の主要広域観光ルート全体を対象にする事業については、VJ 地方連携事業では実施しないものとする。

4. 事業提案の募集と採択

当運輸局の事業計画を策定するにあたり、地域（自治体及び観光関係団体等）から事業提案を募集し、次の事項を考慮の上、採択するものとする。

① 事業提案の必須事項

- a. 重点テーマを踏まえた内容であること。
- b. 広域（2県以上にまたがるもの）での事業構築・連携が行われていること。

ること。ただし、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」の趣旨に沿う事業であって、広域に対して波及効果が期待される事業はこの限りではない。

- c. 訴求内容とターゲットが、明確に分析・設定されており、高い効果が期待できる内容であること。また、「観光立国実現に向けたアクション・プログラム 2015」や「平成 27 年度市場別訪日プロモーション方針」（平成 27 年 5 月マーケティング戦略本部決定）及び「2.（2）」とも整合が図られていること。
- d. 成果指標が「2.（3）」に基づき明確に定められていること。

② 採択にあたっての優先事項

- a. 関係省庁が実施する観光振興に資する取組と連携するもの。
- b. 当該地域の中長期的な外国人訪日促進の方針や計画に即したものであって、VJ 地方連携事業の実施により、当該計画の加速や地域の総意の結集に資するもの。

5. 予算上限

VJ 地方連携事業の実施にあたっては、国は総費用（注 2）の 2 分の 1 を上限に負担することとする。

ただし、予算配賦額は年度当初に決定されているので、事業費が増加しても、配賦額以上の負担は行わない。

注 2：事業の実施に真に必要な範囲に限り、連携先の旅費を総費用に含めることも可

6. 今後のスケジュール（予定）

9 月 2 4 日（木）	事業提案の募集開始（運輸局 HP 掲載）
1 0 月 3 0 日（金）	事業提案の募集締め切り
1 1 月上旬	提案内容に関するヒアリング
1 1 月下旬	事業計画（案）の作成
1 2 月上旬	事業計画（案）の提出（運輸局→観光庁）
1 2 月中旬～1 月中旬	運輸局に対するヒアリング（観光庁）
1 月下旬～2 月下旬	事業計画（案）の査定、査定額の決定（観光庁）
3 月上旬	査定額の通知（観光庁→運輸局）
3 月下旬	事業計画の確定及び提出（運輸局→観光庁）
4 月以降	事業の実施

平成28年度 北陸信越運輸局VJ地方連携事業 事業提案書

事業名	北アルプス日本海広域誘客促進事業													
事業実施主体	北アルプス日本海広域観光連携会議													
国内関係地域	富山県(朝日町)、新潟県(糸魚川市・上越市)、長野県(小谷村・白馬村・大町市)													
事業概要	1 対象市場	台湾												
	2 ターゲット	自転車関連のアウトドアスポーツ愛好者層	選定理由	増加する台湾の自転車愛好者層に対し、当該地域内に訴求するコンテンツを有するため。										
	3 実施事業	<input type="checkbox"/> ①旅行会社招請 <input type="checkbox"/> ②海外現地商談会 <input checked="" type="checkbox"/> ③旅行会社等セールスクール <input type="checkbox"/> ④セミナー <input checked="" type="checkbox"/> ⑤共同広告 <input type="checkbox"/> ⑥純広告 OVJ事業 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦メディア招請 <input type="checkbox"/> ⑧海外現地メディア説明会 <input type="checkbox"/> ⑨インターネット広告(web) ●独自事業 <input type="checkbox"/> ⑩インターネット広告(SNS) <input checked="" type="checkbox"/> ⑪印刷物・映像等 <input type="checkbox"/> ⑫旅行博出展												
	4 提案の背景・目的	現状、外国人旅行客の動きとして黒部立山アルペンルートを経由し首都圏・中京圏へ向かう観光ルートが主流であり、上記6市町村を結ぶルートがエアポケット化している。当エリアは、「海」「渓谷」「北アルプス」の豊かな自然資源と共に、「世界ジオパーク」「山岳文化」「塩の道」など文化的・歴史的にも日本を感じ得る観光資源を有している。平成27年3月に北陸新幹線糸魚川駅が開業し、当エリアの主要駅である糸魚川駅をハブとした広域観光連携を推し進めるにあたり、共通施策である「自転車」を主力観光資源と位置づけ、海外に積極的な情報発信、誘客展開を行うことで新たな観光ルートの構築に繋げていきたい。												
	5 事業計画	6市町村の観光情報を一元化されたサイクル関連情報のプロモーション用パンフ(日文・英文・繁体文・簡体文)を6,000部 ユーザー用サイクルロードマップ(日文・英文・繁体文・簡体文)を20,000部 メディア招聘 5社5名、9月又は10月頃 3泊4日を実施(自転車をテーマに観光エリアを紹介)※1別紙参照 現地プロモーションとして10月頃旅行博時及び3月頃の旅行企画造成時期に併せて旅行社訪問 現地広告 Taipei Walkerへの出稿※2別紙参照												
	6 訴求する主なテーマ・コンテンツ及び設定理由	日本海・北アルプスエリアへのインバウンド施策の主力テーマとして「自転車ツーリズム」を設定。現在、ロードルートやサイクリングコースが関係市町村で整備され、国際競技会や複数の市町村を跨ぐロードサイクルイベントも盛んに行われている。それぞれが持つ観光資源を融合し、サイクルスポーツが盛んな台湾へアプローチしたいものであり、富山きときと空港を発着する定期便の就航や白馬を中心としたインバウンド先進地域と組むことで受入の条件も満たしている。今後は富山、石川や飯山、野沢、松本方面への連携も視野に入れ広域観光へ繋げていきたい。 訴求テーマとしては、台湾人が好む「残雪の北アルプスと桜」「北アルプスと里山の紅葉」「蟹やエビといった海産物」、そして全てのエリアにある「温泉」を活かす。特に20～30歳代の若者層(個人旅行)には、ローカル線体験やロングツーリングのツアーも取り入れたい。また、40歳代家族(団体旅行)には里山や海岸の自然をゆっくり楽しめるサイクルツアーを企画していきたい。												
	7 招請事業の視察行程	1日目:台湾桃園国際空港→富山きときと空港～富山駅～(北陸新幹線)～糸魚川駅～大町仁科三湖・黒部ダム～白馬村(泊) 2日目:白馬村サイクリングコース・小谷村ヒルクライムコース～上越市高田城・上越水族館～上越市(泊) 3日目:糸魚川市久比岐自転車道・かみや横丁視察～朝日町なないろKAN・棚山ファミリーランド・ひすい海岸～糸魚川(泊) 4日目:糸魚川駅～(北陸新幹線)～富山駅～富山きときと空港→台湾桃園国際空港												
	8 スケジュール	事業番号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		③							○					○
		⑤										○		
	⑦						○	○						
	⑪		○											
9 事業の継続性	○ 新規 ○ 継続 (過去の事業名:)													
想定する広域ルート	富山in～(北陸新幹線)～糸魚川駅～大町市～白馬村(泊)～小谷村～上越市～糸魚川(泊)～朝日町～富山(泊) out3泊4日													
実施事業の費用	個別事業名	事業費合計				国(VJ)負担額				連携先負担額				
	メディア招請					航空券代 400 千円				宿泊・食事費 450 千円				
						千円				国内移動費 200 千円				
	共同広告費					通訳ガイド費 200 千円				千円				
						千円				千円				
	旅行会社セールスクール	合計 1,250 千円				小計 600 千円				小計 650 千円				
印刷物・パンフ・マップ					デザイン費 200 千円				千円					
					広告掲載費 300 千円				千円					
					千円				千円					
	合計 500 千円				小計 500 千円				小計 0 千円					
					航空券代 480 千円				千円					
					千円				宿泊費 240 千円					
					現地移動・通訳費 500 千円				千円					
	合計 1,220 千円				小計 980 千円				小計 240 千円					
					パンフデザイン代 400 千円				マップデザイン代 400 千円					
					パンフ印刷代 2,000 千円				マップ印刷代 3,500 千円					
					千円				千円					
	合計 6,300 千円				小計 2,400 千円				小計 3,900 千円					
総合計	9,270 千円				4,480 千円				4,790 千円					
定量成果目標	セールスクール	訪問件数	10	商談件数	10	造成ツアー本数	5	送客数	1500(泊)	日本側参加人数	6			
	共同広告	掲載本数	1	媒体接触者数	20万	造成ツアー本数	5	送客数	1000(泊)					
	メディア招請	掲載本数	5	媒体接触者数	150万	メディア費用換算(円)	500万							
	印刷物・映像等	作成部数/放映時間	100万		10万									
定性目標	北アルプス日本海広域観光ルートの旅行商品造成、台湾における富山・新潟・長野のアウトドアスポーツの情報発信、アジア圏(特に台湾)客の新規取り込み													

提案者

所属	新潟県糸魚川市産業部交流観光課	担当者名	土沢 修栄
電話	025-552-1511	E-mail	syuei.dozawa@city.itoigawa.niigata.jp

誘客宣伝

エージェントモニターツアーの実施（新規）

1 趣旨

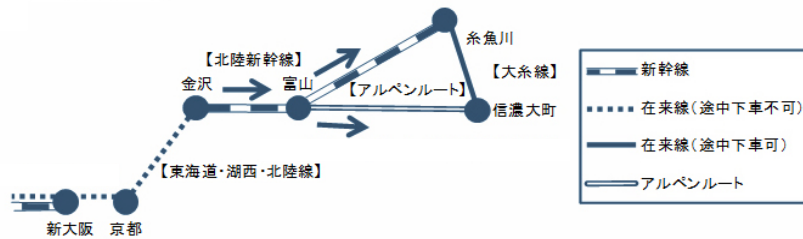
北陸新幹線の開業に伴い関西圏からの誘客のため、旅行商品を企画する旅行エージェントによるモニターツアーを実施し観光客の増加を目指す。

2 事業計画（案）

●事業の必要性

年間100万人近くが訪れる立山黒部アルペンルートへの来訪者は、大町から長野や岐阜へ行くルートが一般的である。その流れをJR西日本と連携しながら、金沢・富山～立山黒部アルペンルート～大町・白馬・糸魚川とする観光ルートの開発を行い関西圏からの誘客を目指す。
 ※立山黒部アルペンルートの入込客（平成27年）・・・99万7千人（富山側から51万7千人、長野側から48万人）

【コースイメージ】



●事業内容

関西の旅行エージェント10～20社程度を招へいし、エリアの観光素材を紹介する中で立山黒部アルペンルートを含むツアー造成を目指す。

3 目標

認知度の向上、誘客拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			企画・募集									
							モニターツアー実施					
								検証・次年度以降の商品造成				

5 事業費（概算）

1,100,000 円

誘客宣伝

観光キャンペーンの実施（継続）

1 趣旨

北陸新幹線の開業によりこれまで以上に関東圏からの誘客を促進するため、集客力のある大規模商業施設において情報発信することで認知度の向上と誘客の促進を図る。

2 事業計画（案）

【開催概要】

- 1 日時 平成28年夏～晩秋の間 土・日2日間
※平成28年10月上旬で調整中
- 2 会場 イオンレイクタウンkazeモール(埼玉県越谷市レイクタウン3-1-1)
電話048-930-7000
※入込参考……平日5万～7万人、土日祝日8万～13万人
- 3 内容 ・観光大使、越後上越おもてなし武将隊による観光PR
・観光ポスター掲出、観光パンフレットの配布
・特産品が当たるアンケート抽選会
・ゆるキャラ撮影会
・その他来場が見込まれるイベント(ヒスイ探し体験等)

3 目標

魅力情報の発信

認知度向上と来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				企画								
						実施						

5 事業費（概算）

570,000 円

<内訳>

- ・出展料 216,000円×2日間=432,000円
- ・会場警備費、備品レンタル料 68,000円
- ・観光大使旅費等 70,000円

HP管理

ホームページ運営管理（継続）

1 趣旨

魅力あるコンテンツを発信することで連携会議のPRを図る。

2 事業計画（案）

- (1) 連携会議の取組みを伝えるほか、イベント開催に合わせた情報更新を行うことで認知度の向上と来訪意欲の創出を図る。
- (2) 広域観光連携を生かした旅行プランを紹介するなど、魅力発信の受け皿とする。
- (3) 各市町村間、観光団体間とのリンクにより露出度の向上を図る。

3 目標

認知度向上

連携会議の魅力情報の発信

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	運営、管理											

5 事業費（概算）

200,000 円

<内訳>

- ・管理料（年間） 50,000円
- ・情報更新料 3,000円/1h × 45時間 = 135,000円
- ・その他関連作業 15,000円/年

二次交通

駅レンタカー乗捨無料事業（継続）

1 趣旨

駅レンタカー利用者の乗捨料金を補助することで、エリア内の周遊を促す。

2 事業計画（案）

(1) レンタカー利用者の乗捨料金の補助

- ・糸魚川営業所を起点とする4,320円区間の乗捨利用に対し、糸魚川営業所を発地又は着地とすることを条件に乗捨料金の全額を補助する。

※H27年度実績

実施期間 平成27年10月1日～12月27日

利用実績 10件 信濃大町→糸魚川 1件、松本→糸魚川 2件

糸魚川→上越妙高 4件、糸魚川→松本 2件、糸魚川→富山 1件

(2) 利用率向上の取組み

- ・J R西日本の協力を得て、大手旅行社や駅レンタカー会社へ情報提供、情報掲載依頼を行い、認知度と利用率の向上を図る。
- ・旅行社の上期商品に合わせ実施期間を4月～9月とし、状況に応じて下期（10月～12月）の販売も検討する。
- ・利用者に抽選で地域の特産品をプレゼント。期間終了後に一括抽選を行う。

【イメージ図】



【PRチラシ】

3 目標

観光流動の創出

糸魚川駅の利用促進

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上期商品の販売（4月～9月）											
			下期販売の検討									

5 事業費（概算） 906,000 円

＜内訳＞

- ・乗捨料金補助 4,320円×200件＝864,000円
- ・抽選商品購入費 42,000円（5,000円相当×6個、1,000円相当×12個）

二次交通

冬季シャトルバス運行事業（継続）

1 趣旨

冬季、白馬バレーに滞在する主に外国人観光客をターゲットに、夕食を目的とした交通手段の提供と受入態勢を整えることでエリア内の観光流動を創出する。

2 事業計画（案）

- (1) H27年度の「シーフードシャトルバス」の継続実施。今年度の反省を踏まえ内容の磨き上げを行う。実施については、グローバル観光委員会（糸魚川青年会議所内）及び三愛旅行社（糸魚川市）。

●行程
 白馬東急ホテル(16:30)===八方バスセンター(16:35~16:45)===糸魚川駅(17:50~21:00)===八方バスセンター(22:00)===白馬東急ホテル(22:10)
 ※マイクロバス27人乗り（基本） 糸魚川での滞在は約3時間



※平成27年度利用実績

100名(日本人客44名・外国人客56名)

【見直し項目】

- ・運営方法の確認
- ・シャトルバスの運行経路、運行時間
- ・利用料金
- ・運行上のトラブルの対応
- ・車内での過ごし方
- ・糸魚川市内での滞在時間と内容
- ・参加店舗及び提供メニュー

- (2) エssenシャルガイド掲載

3 目標

新たな観光ルートの構築
 交流人口の拡大

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							企画					
										運行		

5 事業費（概算）

500,000 円

二次交通

鉄道魅力発信事業（継続）

1 趣旨

在来線の魅力をアピールすることで来訪意欲を創出する。

2 事業計画（案）

(1) 鉄道誌への掲載

- ・メジャーな鉄道専門誌に記事掲載しターゲットを絞って訴求する。
- ・実際に訪れないと分からない情報を盛り込むことで来訪を促す。

掲載誌 『鉄道ジャーナル』8月号(6月21日発売)



- 月刊(21日発売) ●発行部数 130,000部
- B5判変形(天地257mm、左右189mm)左無線綴
- ページ数 通常号 170ページ
- 構成 全誌面の約90パーセントがカラー誌面。
- 定価 通常 1,000円(税込)

<媒体の特徴>

読者の多くは毎号購入していただける固定読者で、鉄道ファンや旅行好きの方のほか、鉄道関連企業や交通関係の専門職の方から支持。 趣味誌・専門誌として読者の年齢層は30～40歳をピークに小学生から中高年まで幅広い。

- ・将来的に取材記事を引用した見所マップの作成に展開させる。

(2) 鉄道限定グッズの作成・キャンペーンの実施

- ・マニアだけに限らず、一般家族連れにも分かりやすく直接的かつシンプルに乗車を動機付ける鉄道グッズ(キハ限定ストラップ)をプレゼントする。

●実施概要

「大糸線に乗ろう！懐かしのキハ限定ストラッププレゼントキャンペーン(仮)」

- ①期間:平成28年7月16日(土)～10月30日(金)
- ②内容:糸魚川駅及び南小谷駅に専用スタンプ、専用台紙を設置。押印後の台紙と乗車券の提示でグッズと交換できる。

限定ストラップ
(1,000個限定)



3 目標

来訪意欲の創出

4 スケジュール

2016年(平成28年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
			27年度取材記事掲載								29年度記事打合せ		
										29年度ストラップ製作			

5 事業費（概算） 1,507,000 円

<内訳>

- ・掲載費・編集費・取材費 540,000円
- ・フィギュアストラップ製作 857,000円
- ・ロイヤリティ 10,000円
- ・台紙作成費 100,000円

二次交通

北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議（継続）

1 趣旨

糸魚川駅から周辺市町村への広域的誘客を図るため、旅行商品の造成や観光地への誘導方法の検討により、北陸新幹線系魚川駅の利用促進を図る。

2 事業計画（案）

平成27年12月の第1回戦略会議での内容を踏まえ、専門委員会として「北陸新幹線系魚川駅利用促進戦略会議」を位置づける。

(1) 組織

- ・西日本旅客鉄道株式会社金沢支社
- ・新潟県
- ・長野県
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議構成市町村
(糸魚川市、上越市、大町市、白馬村、小谷村、朝日町)

(2) 取組内容

- ・一番の課題である「新幹線駅・在来線駅から観光地への誘導方法」を検討し、広域的なバス・タクシー等の試験運行をするなかでアクセス強化と効果測定を行う。
- ・新幹線駅・在来線駅から観光地へ誘導するための試験運行を旅行会社へ情報提供し、商品造成しやすい環境を提供する。

3 目標

旅行商品を造成しやすいアクセス環境の整備

4 スケジュール

2016年（平成28年度）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		戦略会議										
						バスの試験運行						

5 事業費（概算）

1,000,000 円